

先週の礼拝メッセージ(2023年4月23日) ベン牧師

「失敗しても好きは好き」 ヨハネによる福音書 21:15-19

イエス様はペトロに、「私を愛するか」と3度尋ねられます。ペトロは当然、愛していますと答えます。聖書で同じ言葉が繰り返される時、それは強調を意味します。ですから、イエス様の三度の質問は、強い思いがそこにこめられていることがわかります。また、もう一つ注意しなければいけないのは、「愛」という言葉です。ギリシャ語で「愛」は「アガパオ」と「フィレオ」といいます。当時のイエス様とペトロの会話は、ギリシャ語ではなく、アラム語でした。ですから、アラム語にはギリシャ語のような言葉の使い分けはありません。ただ、ヨハネが聖霊によって、ギリシャ語でこの福音書を記した時に、その現場にいた彼は、イエス様とペトロの会話を思い起こしながら、彼らの心情を察し、あえて、愛という言葉を使い分けたのでしょう。

イエス様はペトロに、「あなたは自分の意思をもって私を愛するか(アガパオ)」と尋ねられました。しかしペテロは、ほんの数日前に3度もイエス様を知らないと言ったのです。彼は自分が、どんな時にもイエス様を選び取っていくことができない弱さを持った者だと思い知りました。それでも、彼はイエス様のことが大好きなのです。ですから、ペトロは「私はイエス様のことが大好き(フィレオ)です」と答えたのです。2回同じ会話が繰り返されました。3度目にはイエス様の方から、「私のことを大好き(フィレオ)でいてくれるんだね」とペトロに声をかけられるのです。彼は3度も尋ねられたので、心痛めましたが、「私がイエス様のことを大好きなことはご存知でしょう」と答えました。

この時ペトロは、故郷のカリヤに帰って漁師の仕事に戻っていました。ペトロは、イエス様の弟子として活躍し、いつもイエス様から教えを受け、自他ともに認めるイエス様の一番弟子でした。イエス様のためなら死も恐れないと豪語しました、しかしその後イエス様が捕まると、彼はイエス様を捨てて逃げ出し、イエス様を知らないと言い、復活のイエス様に出会ったにも関わらず、生計のために弟子よりも漁師を選んだという、ある意味どん底状態でした。そんな時にイエス様が現れて、食事まで用意してもてなして下さったのです。その食事が終わった後の会話が、先ほどのものです。彼は自分が、何があっても従いますとは言えない者であることが、嫌というほどわかっていた時だったのです。イエス様も彼の弱さをご存知でした。ですから、最後の晩餐の時に、「シモン、シモン、サタンはあなたがたを、小麦のようにふるいにかけることを神に願って聞き入れられた。しかし、わたしはあなたのために、信仰が無くならないように祈った。だから、あなたは立ち直ったら、兄弟たちを力づけてやりなさい。」(ルカ 22:31、32)と言われ

たのです。イエス様はペトロが失敗するけれど、彼がイエス様を大好きだということもわかっておられたのです。だからこそ、どん底の漁師ペトロの前に現れてくださったのです。

イエス様のことが大好き、これはとても大切なことです。

1コリント 16:22には「主を愛さない者はみな、のろわれよ。」とまで言われています。

ここで使われている「愛」は「フィレオ」です。まさに、イエス様のことが大好きですと言えない人はのろわれよ、と聖書が言っているのです。私のために天の栄光を捨て、苦難の生涯を歩み、私の罪をその身に負って、十字架を忍んでくださり、死に勝利してよみがえり、私たちに永遠の命を与えてくださったイエス様を好きではないなんて、そんな人は呪われてしまっているのです。そしてこれは、クリスチャンに向けての言葉です。人間同士でも、好きな人(家族や友人等)のためには何か良いことをしたいと考えますね。イエス様が好きな人はイエス様のために何かをしたいと思います。ペトロもイエス様が大好きだったからこそ、捕えられたイエス様の後について行ったのです。しかし、いざとなると自分の身の可愛さのゆえにイエス様を否みます。大きな失敗をしたペトロを、イエス様は決して見捨てず、彼の前に現れ、私を大好きでいてくれるかと、優しく問うてくださったのです。私たちも、失敗しても、イエス様に従いたい、イエス様が大好きだという思いを主は喜んでくださるのです。

さらにイエス様は、18、19節でペテロの死に方について語っています。

「ペトロがどのような死に方で、神の栄光を現すようになるかを示そうとして、イエスはこう言われたのである。」

一般には、「救われる」というと、病気が治るとかお金に困っている時に与えられるとか、困難がなくなることを救われると言います。ですから、どんな死に方をするかということと救われるということは関係ないように思われます。実際にペトロは殉教の死を遂げます。

聖書はペトロの死が、神の栄光を現す死に方であるということです。

ペトロはイエス様との会話の後、エルサレムに戻り、やがて聖霊が下り多くの人々が救われ、彼も迫害や困難に勇敢に立ち向かい福音を語り続ける人へと変えられます。もちろん彼も人間ですから、失敗をしなくなったわけではありません。しかし彼は、失敗してもイエス様が好きな人であることには変わりはありません。神の栄光は、イエス様が大好きなペトロの生涯に、そして彼の死によって現されました。

私たちも、失敗の多い者です。しかし、失敗してもイエス様が大好きと告白し続けましょう。そこにこそ、神様はご自身の栄光を現してくださるのです。